

令和5年度第3回札幌市学校給食運営委員会 議事録

I 開催日時

令和5年10月5日（木）10:00～11:45

II 開催場所

S T V北2条ビル6階 B会議室

III 出席者

1 委員 12名

白崎委員、小田委員、大嶋委員、千歩委員（札幌市小学校長会4名）
下山委員、伊藤委員（札幌市中学校長会2名）
松宮委員、運上委員（札幌市学校給食栄養士会2名）
小笠原委員、八木委員、戸舘委員（札幌市PTA協議会3名）
杉村委員（学識経験者1名）

2 事務局 8名

近藤保健給食課長、泉栄養指導担当課長、坂本給食係長、
安達給食制度担当係長、六角給食費事務係長、松本栄養指導担当係長、
駕海栄養指導担当係長、見澤給食係員

IV 欠席者

大塚委員、中瀬委員

V 開会

委員長から、第2回委員会で同意いただいているので非公開とする旨の報告。

VI 議事

1 令和6年度学校給食費について

【事務局説明】

(1) 「答申書 令和6年度 学校給食費における統一基準献立について」

- 前回会議で令和6年度における統一基準献立について協議し、当委員会内で内容を決定して、教育長あて答申した旨を報告。
- (2) 令和5年度学校給食費に係る単価及び公費負担額について
 - 令和5年度の学校給食費に係る単価及び公費負担額を改めて報告。
 - 物価上昇傾向が続いている中で、食材費が不足して献立どおりの給食が実施できないといった事例報告はなし。
- (3) 第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2023(案)
 - 第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2023案が公表された。学校給食費負担軽減事業として、学校給食費の保護者負担軽減を継続する旨が記載された。
 - 市長より、給食費については、当面物価高騰対策として、公費による負担軽減を継続していくという旨の発言があったことなどを踏まえると、令和6年度の学校給食についても、公費による負担軽減が継続される可能性が高いものと考えられる。
- (4) 毎月勤労統計調査令和5年7月分結果
 - 実質賃金は前年同月比で、ずっとマイナスで推移している状況となっている。物価上昇に対して、労働者賃金の上昇が追いついていない状況にある。
 - 物価や労働者賃金の動向なども踏まえながら、保護者負担額のあり方について議論をお願いしたいと思っている。
 - 統一基準献立の答申内容等も踏まえて整理すると、議事の「令和6年度の学校給食費について」の答申の方向性として、方針案として示させていただく。
- (5) 統一基準献立の答申案を踏まえた方針案
 - これまでどおりの栄養バランスや量などを保った給食献立とすることを前提に、物価高騰を加味した1食当たりの食材価格を適切に設定すること。
 - 実質賃金の動向を踏まえると、保護者の負担軽減に引き続き配慮を要する状況と考えられることから、食材費の公費負担を継続するといった対応が必要である。

【委員意見・質疑応答】

委員	公費負担額だが、今年度と同様程度になるのか。
事務局	物価上昇分をどうするかについては、各年度の予算で対応し

	たいと考えている。今後の物価上昇については不透明な部分もあるが、現在の調達額をベースとし、保護者負担を上げないということになれば、その差額を予算要求していく流れになるかと思う。
委員	来年の食材費の上昇を考えると、今年度と同様の補填額では不安な部分もある。昨年同様に不測の事態への対応として、答申案に付帯意見を付けられるのか。
事務局	当委員会の総意として、答申案を確定させていく流れになる。当委員会の総意として付帯意見を反映すべきとなるのであれば、そのような流れになる。ご審議をよろしくお願ひしたい。
委員長から	一番判断しなければならないのは、学校なので、子どもを第一に考えること。全ての判断基準をそこに置き、子どもたちに栄養価、エネルギーを保った給食を提供できる学校給食費を答申していきたい。皆さんの意見をいただきたい。

【各委員から】

- 給食費だが、現在のところは公費負担があるため、不足はしていない。年度当初からこの食材価格でできるのであれば、もう少しエネルギーの摂れた良い給食を提供できる。
- 札幌市の給食食材は、共同購入のため、年度途中で値上がりするものはあまりないが、時々、一部食材が上がることもある。来年度の上がり方がどうなるかが不安である。
- 親の立場からの意見になるが、学校ではしっかりとした栄養を取ってきて欲しいという気持ちで学校に送り出している。栄養バランスの取れた食事は各家庭では難しいこともある。
- 答申に付帯事項を付けるのは賛成だが、具体的な数字は難しい。食材がこれくらい上がるというのも分からない。当委員会としては数字に反映させたほうが良いとは思ふ。

【委員長から】

- 皆様から様々な意見をいただいた。答申として、札幌市が責任を持って必要な対応という言葉があった。具体的な数字は難しいが、そのようなことをしっかり入れたい。
- 来年度の方向性がある程度定まってきた。会議開始から1時間以上経過している。休憩の後、答申案を基に審議を進めたい。

[休 憩]

【委員長から】

- 事務局から現時点での答申案について願います。

【事務局から】

- 答申（案）を読み上げ。
- 別紙として、令和6年度学校給食1食当たりの食材価格、基準として、今年度の公費負担額を反映した額をお示しした。ご審議をよろしく願います。

【各委員から】

- 給食費だけでなくいろいろなものの値段が上がっている。全般的に保護者の負担も増えているということを見みると、やはり、負担軽減について御配慮いただきたいという、ここの部分はやむを得ないところもあるのだろうなと思った。
- 今の1食当たりの食材価格の部分についても、いろいろ御苦労されて今の部分を算出していただいているだろうなと思う。今後の統一献立について、引き続きの検討は必要。
- 答申案を拝見して、子育てに力を入れて育てやすいとか教育の充実をという方向性と一致しているなというふうを受け止めた。最後の3行の重さを市としてはしっかり受け止めていただいて、継続的な支援、安定的な給食提供に御協力いただきたいと思う。

【委員長から】

- 本案をもって答申としては決定するという事で教育委員会に答申したいと思う。この答申案に基づいて最終的に札幌市で令和6年度の学校給食費を決定することになる。
- 令和6年度学校給食費についてご審議いただき、皆様にお礼を申し上げる。

【事務局から】

- 令和7年度の統一基準献立について、作成を進めているところ。保護者負担も含めて、学校給食費の金額を定めるうえで重要な基礎になる。
- 現時点では、年度内に次の運営委員会を開催する予定だが、時期、詳細が固まったら事務局から改めて案内させていただく。

VII 閉会